

とよなか都市創造研究所
平成 29 年度（2017 年度）調査研究報告会
開催案内

1. 目的

とよなか都市創造研究所において平成 29 年度（2017 年度）に実施した調査研究成果を報告します。報告会は、都市政策に関する問題等について市民や市職員の認識を深め、市民の市政に対する理解並びに市職員の政策形成能力の向上を深めると同時に、本市の地域資源を再確認し、これからの地域づくりを考える機会として実施するものです。

併せて、平成 29 年度（2017 年度）に新規開校した「とよなか地域創生塾」の活動報告を行います。

2. 主催

政策企画部とよなか都市創造研究所
総務部人事課

3. 日時

平成 30 年(2018 年)5 月 29 日（火）15：00～17：00

平成 30 年(2018 年)5 月 29 日（火）9：30～11：30 ※

※申込者多数のため、2 回実施することになりました（内容はどちらも同じです）。

4. 場所

市役所別館 3 階 研修室

5. 対象

市民及び受講を希望する職員 50 名程度

6. プログラム（午後の開催時間です。午前中は 9 時半から開会となります。）

15：00～15：05	開会、所長挨拶
15：05～15：35	研究報告 1「豊中市民の生活の質に関する調査研究」
15：35～16：05	研究報告 2「南部地域の活性化に向けた調査研究Ⅱ」
16：05～16：20	質疑応答
16：20～16：25	休憩

16：25～16：50	平成 29 年度（2017 年度）とよなか地域創生塾活動報告
16：50～17：00	質疑応答

7. 内容

研究報告 1「豊中市民の生活の質に関する調査研究」

（報告：熊本伸介（研究員））

豊中市の生活課題について、また、主観的厚生分析による豊中市民の生活の質について調査研究を行った。具体的には、豊中市民は全国の他の中核市と比較したとき、どの程度生活の質を満たしているかを調査した。また、主観的厚生分析を行い、性別や年齢、所得や学歴など、いろいろな要因を取り除いた後でも、子ども時代の貧困がその後の人生の主観的厚生（生活の満足感、健康感）に影響を与えていることなどを明らかにした。

研究報告 2「南部地域の活性化に向けた調査研究Ⅱ」

（報告：比嘉康則（研究員））

人口減少・少子高齢化の進む豊中市南部地域の活性化に向け、何が求められるのか。庄内駅周辺の観察調査による往来者の滞留状況の分析、質問紙調査の自由記述データに基づく地域イメージの計量テキスト分析、20 歳～40 歳代の地域居住者へのインタビュー調査による地域生活の諸相（居住地選択、買い物行動、つながり、地域の環境評価など）の分析を通じて、今後の地域活性化の方向性について検討した。

平成 29 年度（2017 年度）とよなか地域創生塾活動報告

（報告：大平晃子（主任研究員））

「とよなか地域創生塾」は、地域課題の解決を実践する人材育成を目的とした学習と実践のプログラムを提供する学びの場として、平成 29 年（2017 年）5 月に新規開校した。ワークショップ形式を中心に、合宿や空き家のリノベーション実習などを含む多彩な全 20 回のカリキュラムを通して、企画力や実践力を身に着けることをめざした。主な活動内容を報告する。

調査研究報告会 会場のご案内

(平成30年5月 29日(火)9:30~11:30、15:00~17:00)

豊中市役所別館 3階 研修室

